

3/4 スポーツで広がる仲間の輪 町民ミニバレー大会

洞 爺湖町体育振興連絡会主催の町民ミニバレー大会があぶた体育館で開催されました。

60人11チームが参加し、予選リーグと決勝トーナメントで優勝を争いました。

各チームは、息の合ったラリーでボールをつなぎ、得点を狙いました。勝利を目指しながらも試合後はお互いの健闘をたたえ、プレーを通じて交流を深めていました。



ラリーを繰り広げる参加者

2/27 言葉と絵画で個性を表現 読書紹介文・感想画表彰式

読 書紹介文・感想画表彰式が、役場で行われました。

町教育委員会と洞爺湖ロータリークラブが共催。昨年10月から11月にかけて行われた秋の読書週間中に応募があった紹介文43点、感想画160点の中から最優秀賞に5人、優秀賞に9人が選ばれました。

受賞した小中学生は、保護者が見守る中で滝澤敏哉会長から表彰状と記念品を受け取り、笑顔をこぼしていました。



読書紹介文・感想画を表彰された児童、生徒

3/8 歌や踊りの文化の共演 ふれ合う心の文化広場

洞 爺湖町文化団体協議会の第41回ふれ合う心の文化広場が、洞爺湖文化センターで開催されました。

13団体が出演し、バイオリンや琴の演奏、合唱、吹奏楽、日本舞踊など様々なプログラムが行われました。

洞爺湖太極拳同好会は人気曲に合わせて演武を披露。円を描くように手足をなめらかに運び、積み重ねた稽古の成果を発揮していました。



太極拳を披露する参加者

3/5 ちょうさの寄贈から20周年 記念誌を町に寄贈

町 の友好都市、香川県三豊市から寄贈を受けた山車「ちょうさ」（太鼓台）の保全などを行っている財田の太鼓台をかつぐ会が、ちょうさの寄贈から20周年を迎えたことを祝って記念誌を発行しました。

記念誌はA4版48ページで寄贈にまつわる関係者のインタビューや、洞爺夏まつりにおけるちょうさの雄姿を紹介しています。

記念誌は三豊市の関係者に配られたほか、町も寄贈を受けました。役場などで閲覧できます。



記念誌を寄贈した堀家潔会長（右）

PICK UP!

きょうから小学生！ 町内の小学校で入学式

虻 田小学校、洞爺湖温泉小学校、とうや小学校の入学式が4月8日から9日にかけて行われ、39人が小学生に仲間入りしました。

虻田小は22人、洞爺湖温泉小は2人、とうやは15人が入学。8日には洞爺湖温泉小、とうや小の入学式が開かれ、保護者や教職員の前で晴れ姿を披露しました。

9日に行われた虻田小の入学式では、拍手に迎えられる新入生が体育館へ。整列した後は自分の名前が呼ばれると、元気な返事を響かせていました。

虻田小の校舎には4月から虻田中学校が移転。8日には小学生と中学生の合同紹介式も行われ、新しい学校生活がスタートしました。



虻田小の1年生



洞爺湖温泉小の1年生



とうや小の1年生

3/14 虻高を知るきっかけに アブタ・ボードゲ・フェスタ

ボードゲームをきっかけに虻田高校を知ってもらおうと、アブタ・ボードゲ・フェスタが同校で開催されました。生徒会の発案で初めて行われ、生徒が持ち寄ったボードゲームなど約30種が並びました。

生徒と来場者がゲームを楽しみながら交流。手製のしおりでは学科の特色や学校行事などを紹介しました。生徒会の笠井風牙さん（3年）は「思った以上の参加があったうれしかったです」と喜んでいました。



ボードゲームを楽しむ参加者

3/14 洞爺湖の未来を考える 洞爺湖生物多様性シンポ

洞 爺湖町、酪農学園大学、洞爺湖生物多様性保全協議会による洞爺湖生物多様性シンポジウムが開かれました。

北海道地方環境事務所の西野雄一次長が講演。近年、世界的に頻発している異常気象の影響を解説し、全国有数の再生可能エネルギーの適地である北海道で化石エネルギーからの脱却に取り組む意義を強調しました。

町の生物多様性基本計画の最終案についても担当者が説明し、参加者の理解を得ました。



異常気象の影響などを学んだ生物多様性シンポ